

**受付番号、資格、書面合議・面接審査区分、採用日、氏名、受入研究機関、研究課題名**

上記は「特別研究員申請書」の情報が自動表示されます。確認時に誤りを見つけた場合には、入力データを一時保存した上で研究資金助成グループに連絡してください。

**平成31年度 第1回  
業（特別研究員奨励費**

応募区分；書面合議・面接審査区分が

○人文学・社会科学の方は原則「非実験系」

※フィールドワークなど特に研究経費を要する場合は「実験系」または「特別枠」でも応募することができます。

○上記以外の書面合議・面接審査区分の方は「実験系」または研究経費を要する場合は「特別枠」

<b>真格</b>		<b>書面合議・面接審査区分</b>	
<b>受付番号</b>		<b>応募区分</b>	
(フリガナ) <b>氏名</b>			<b>e-Rad研究者番号</b>
<b>受入研究機関名</b> (番号)		受入部局名は、DC1・DC2については、ご自身が4月から在席する学院の名称、SPD・PD・RPDIについては、受入研究者が4月から所属する学院・研究所等の名称が入ります。(去年提出した申請書情報からの自動表示) <b>異なっている場合は、研究資金助成グループに連絡してください。</b> ※「研究計画調書確認部局番号」については変更不要です。 自動入力されていない場合は、「153」を入力してください。	
<b>受入部局名</b>			
<b>研究課題名</b>			
<b>受入研究者</b>	(所属研究機関名)		
	<b>(部局名)</b>	ここは変更しないでください。 (申請書記載の受入研究者研究者番号からの自動表示) <b>異なっている場合は、研究資金助成グループに連絡してください。</b>	
	(職名)		
	(氏名)		
	(研究者番号)	研究者番号が空欄の場合は、受入研究者に確認して正しい研究者番号を入力してください。	

**研究目的及び研究計画**

<b>研究目的</b>	特別研究員の申請書の記載内容に基づき、入力欄に記載している指示に従い入力してください。英語で入力しても構いません。  ※何をどこまで明らかにしようとするかがわかるように焦点を絞り、具体的に記述してください。
<b>研究計画</b>	平成31年度  特別研究員の申請書の記載内容に基づき、入力欄に記載している指示に従い入力してください。英語で入力しても構いません。  ※特別研究員申請書記載の研究計画を、年度ごとに研究経費（主要設備及び主要な経費）との関連も含めて記述してください。(現有施設との関連も含む)
	平成32年度  ※研究計画のいずれかの年度において各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合、及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

<p>研究計画 (つづき)</p>	<p>平成33年度</p> <hr/> <p>平成 一年度</p>
<p>特別枠の応募 をする場合の 理由</p>	<div style="border: 1px solid green; padding: 10px;"> <p>「応募区分」にて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「特別枠（実験系の応募総額を超えた額の応募）」を選んだ方</li> <li>○領域が人文学・社会科学の方で、「実験系」を選んだ方は、<u>その理由を具体的かつ簡潔に入力してください。</u></li> </ul> <p>英語で入力しても構いません。</p> <p>= 「特別枠」について =</p> <p>各区分の応募総額(次ページ参照)を超える研究費が必要な方は、積極的に「特別枠」に応募し、理由をこちらに入力してください。</p> <p>理由が認められれば、区分の額を超えた研究費が交付されます。</p> </div>

平成31年度 総計

設備備品費 消耗品費

設備備品費…10万円以上、耐用年数1年以上の物品（学内ルール）

消耗品費…設備備品費以外の物品

金額

**3 応募総額**

応募区分により次の7種類に区分

応募区分	応募総額
SPD・実験系	年間240万円以下
P D・実験系（RPDを含む）	年間120万円以下
D C・実験系	年間100万円以下
SPD・非実験系	年間160万円以下
P D・非実験系（RPDを含む）	年間80万円以下
D C・非実験系	年間60万円以下
特別枠 (特に研究経費を要するものについて、実験系の応募総額を超えて応募する場合。理由の妥当性を判断し、認めることがある。)	年間150万円以下 (SPDについては年間300万円以下)

旅費

事項

金額

**研究経費 使用内訳 欄**

応募額は**各年度10万円以上**です。

研究計画に基づき、年度別・使用内訳別に**千円単位**で入力してください。

(千円未満の端数は切り捨ててください。)

「再計算」ボタンを押すと、「研究経費の合計」「総計」が自動表示されます。

平成32年

設備備品

品名

**【設備備品費 欄】**

★多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のように、ある程度、図書・資料の内容が判明するような表現で入力してください。

金額

**【消耗品費 欄】**

★薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に入力してください。

**【旅費 欄】**

★研究代表者及び研究協力者の国内・海外出張（調査・研究旅費、研究打ち合わせ旅費、学会等における成果発表旅費等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に入力してください。

旅費

事項

**【人件費・謝金 欄】**

★研究補助、専門的知識の提供を行う研究協力者（ポストドクター・リサーチアシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に入力してください。

金額

**【その他 欄】**

★上記のほか**当該研究を遂行するための経費**

例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等

その事項毎に入力してください。

研究経費 使用内訳

(金額単位：千円)

平成33年度					総計	
設備備品費			消耗品費			
品名	金額	品名	金額	品名	金額	
旅費		人件費・謝金		その他		
事項	金額	事項	金額	事項	金額	
平成 -年度					総計	
設備備品費			消耗品費			
品名	金額	品名	金額	品名	金額	
旅費		人件費・謝金		その他		
事項	金額	事項	金額	事項	金額	

研究費の応募・受入等の状況

応募中又は受入予定の別	資金制度・研究費名(研究期間)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	平成31年度の研究経費(期間全体の額)	研究内容の相違点(研究代表者である場合は、研究期間全体の受入額)
【例】 受入予定	戦略的想像研究推進事業(平成31年度～35年度)	〇〇〇〇における△△△△の可能性について	代表	1000 (3500)  (千円)	・～の解明を目指す特別研究員奨励費の研究課題とは内容が異なっている。また、これら2つの研究を同時に進めることで、相乗効果が見込まれることから、本研究にも応募するものである。(3500千円)
【例】 応募中	新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究)(平成31年度～35年度)	△△△が×××に及ぼす影響の分析(研究代表者:研究 三郎)	分担	200 (1000)  (千円)	・応募中の研究課題は・・・ということだから、本研究にも応募するものである。
<p><b>研究費の応募・受入等の状況</b></p> <p>今回応募する特別研究員奨励費以外に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 科研費の他の研究種目や、他の資金制度の研究費に応募している場合</li> <li>➤ 平成31年度以降に科研費の他の研究種目や、他の資金制度の研究費の受入が予定されている場合</li> </ul> <p>入力します。</p>					
<p>※<u>研究代表者または研究分担者として参画している研究課題のみ記載</u>ください。</p>					
				(千円)	
				(千円)	